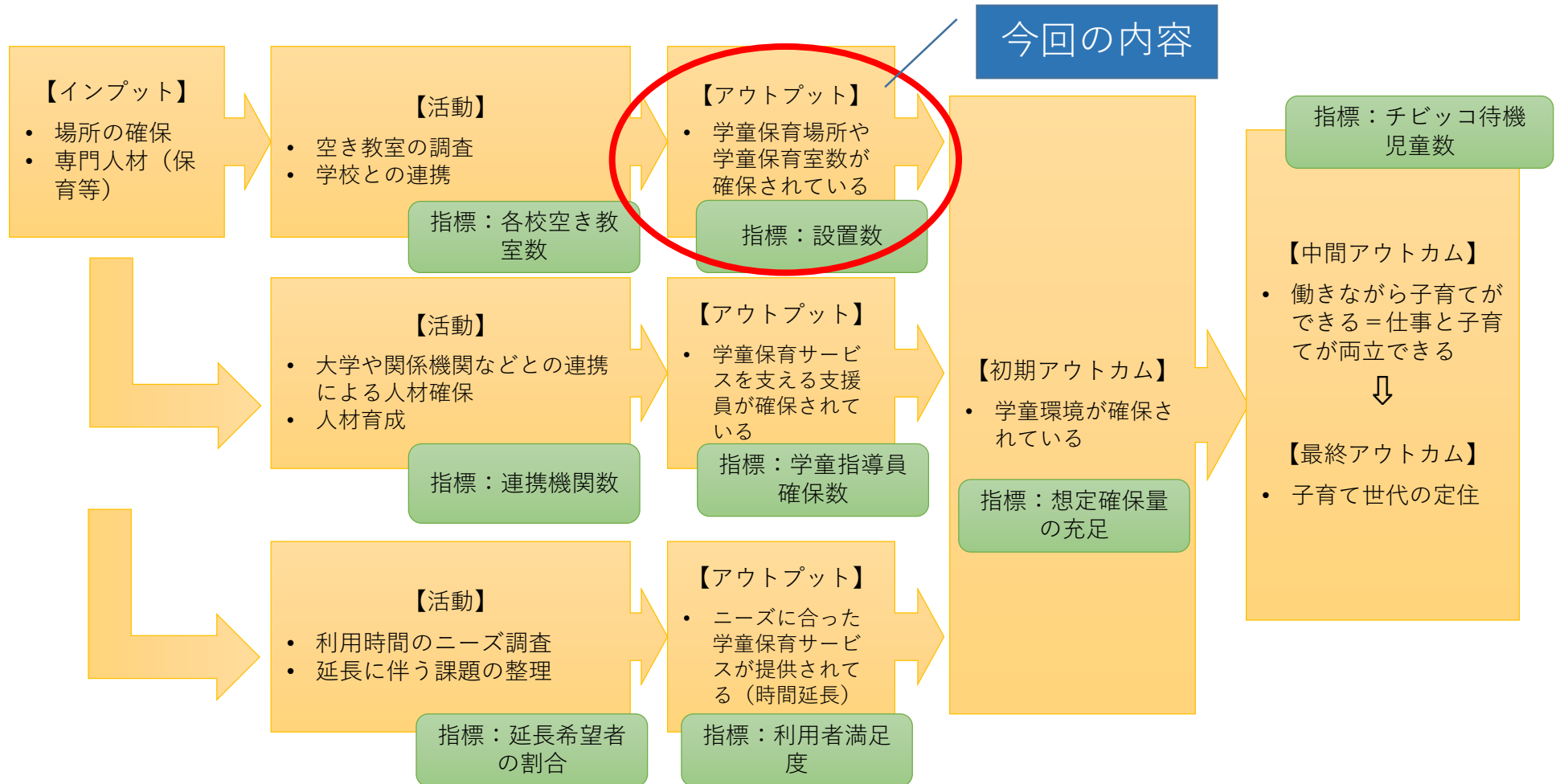


【R 6 年度】重点目標の取組・概要（学童保育の待機児童対策[放課後児童健全育成事業]）

担当課（内線）	子ども家庭応援部子育て支援課（内線2776）	重点目標の方向性	子どもの保育・教育環境の向上
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	ニーズに応じた保育や学童保育の量の確保を行う
現状と課題		課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）	
・岸和田市内23校区の小学校にて実施しているチビッコホーム44か所（放課後児童クラブ）において、一部校区にて、待機児童が発生している。 ・待機児童解消のための空き教室の確保が課題である。（今後、感染症が終息に向かい、再びチビッコホーム利用者が増加し、待機児童が発生する可能性がある。）		【中期的(4～5年後)にめざす成果】 ・待機児童が発生している校区において、空き教室の確保を行い待機児童を解消する。 【成果に向けての各年度の進め方】 ・待機児童解消のために、小学校や教育委員会と連携を図りながら、空き教室の確保を行う。また、待機児童が発生している校区においては待機児童対策として、夏期臨時チビッコホームを開設する。 【R 6 年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】 ・R 6 年度は、小学校23校で44箇所のチビッコホームを開設予定。また、夏期臨時チビッコホームを4箇所で開催予定。 ・令和5年度に待機児童が発生している大宮、東光チビッコホームについては、令和6年度に小学校の空き状況を確認し、チビッコホーム開設の可否について協議する。	
R 6 年度の事業費（内訳）			
・チビッコホームに係る経費 375,851千円 （うち人件費 334,283千円） （うち事業費 41,568千円） ※特定財源：108,440千円（市負担金：放課後児童健全育成事業負担金） 887千円（市協力金：放課後児童健全育成事業協力金） 3,600千円（市事業債：児童福祉施設整備事業費） 85,270千円（国交付金：子ども子育て支援交付金） 85,270千円（府交付金：子ども子育て支援交付金）			
R 7 年度以降の想定事業費（ランニング経費）		取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
・チビッコホームに係る経費 (R7)380,360千円 (R8)384,085千円 (R9)385,956千円 (R10)388,344千円		・チビッコホーム待機児童数 39人（2023）➡0人（2026）	※必ず縮小・廃止時期を記載すること ・（R 7）前年度を踏まえ改善 ・（R 8）前年度を踏まえ改善 ・（R 9）前年度を踏まえ改善 ・（R 10）前年度を踏まえ改善

【R6年度】重点目標の取組・ロジックモデル（学童保育の待機児童対策[放課後児童健全育成事業]）

ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【R 6 年度】重点目標の取組・評価シート①（学童保育の待機児童対策[放課後児童健全育成事業]）

■ 中期的にめざす成果に対する達成度

道半ば

- 待機児童が発生している校区において、空き教室の確保を行い待機児童を解消する。

■ R 6 年度において実施・実現できたこと

- 待機児童が発生している4校区（大宮・旭・東光・城東）においては待機児童対策として、夏期臨時チビッコホームを開設することができた。

■ R 6 年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）

一部
達成

- 待機児童解消のために、小学校や教育委員会と連携を図りながら、空き教室の確保を行う。また、待機児童が発生している校区においては待機児童対策として、夏期臨時チビッコホームを開設する。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指 標 名	単位	基準値（R 5 年度）	目標値（R 8 年度）	R 6 年度実績値
○	待機児童数	人	39	0	88
○	待機児童が発生している小学校数	校区	4	0	7
○	学童指導員確保数	人	72	88	74
—	利用者満足度	—	—	—	—

【R6年度】重点目標の取組・評価シート②（学童保育の待機児童対策[放課後児童健全育成事業]）

■ R6年度において実施・実現できなかったこと

- ・ 実施できたこと
待機児童が発生している4校区（大宮・旭・東光・城東）においては待機児童対策として、夏期臨時チビッコホームを開設することができた。
- ・ 実施できなかったこと
待機児童が発生している校区において、空き教室の確保を行い待機児童を解消することができなかった。



■ 課題分析

- ・ 待機児童解消のために、小学校や教育委員会と連携を図りながら、空き教室の確保を行うこととしているが、小学校側としては、支援教室の拡大や、35人学級の実現のために、教室の確保が必要であるため、チビッコホームの増設が難しい状況である。



■ ロジックモデルの振り返り

- ・ ロジックモデルにて利用者満足度の指標を掲げているが、実際に数値としてなかなか表わすことが難しいため、結果の検証をすることが困難であり、見直しが必要である。



■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 待機児童解消については、引き続き小学校や教育委員会と連携を図りながら、空き教室の確保を行うことが必要である。